

市長の施政方針



市民の生活と安全を守るための施策

【問】工コ商事に関するその後の動向と問題点は。

【答】火災鎮火の翌日から、環境生活課ほかの各担当部署が現地確認等を行い、それらについて組織として情報共有を図っている。また、岡山県等とも連携して課題解決に向けて取り組んでいる。今後も状況を注視しながら対応を図っていききたい。

ICTを活用した先駆的な取組の必要性

【問】メタバースなどを活用し、津山市独自の施策実施をすべきでは。

【答】VR・ARを活用するメタバース技術には、以前から着目し、導入の検討を考えている。観光分野の他、多様な可能性を探っていききたい。



公助から共助への権限委譲による機能強化を

ツヤマノチカラ
三浦ひらく



防災対策

【問】防災備蓄物資はどのように保管しているのか。

【答】市役所本庁舎、各支所、出張所、公民館、アルネ津山内の防災倉庫で分散保管している。

【問】大きな災害発生時には指定避難場所まで行けない事態や、防災備蓄品が保管されている倉庫等からのアクセスが寸断されることも想定される。1月末の大雪の際には実際にそう



いかに充実した備蓄品を備えようとも、必要な市民の元に届かねば絵に描いた餅

【その他の質問項目】

◆子どもたちの今と未来のために

◆施策の効果を最大化していくために

教育

【問】集団生活になじめない子どもに対し、地域の方が学校に入り、寄り添うことはできないか。

【答】今後、地域の方に積極的に関わっていただくよう、働きかける。

自転車の損害賠償責任保険加入

【問】自転車事故への対応として、すべての自転車利用者の損害賠償責任保険加入を条例化できないか。



不登校対策の強化



津山市教育相談センター「鶴山塾」

【答】他の自治体の動向や現状を把握し、必要性も含め研究していく。

不登校対策

【問】大きな課題である不登校生徒への今後の対策と特例校設置への検討は。

【答】令和5年度、専属教員を2名増員し4中学校に配置。教員の小学校訪問、鶴山塾など関係機関等と連携し、成果を小中学校へ横展開し、生徒自身の自己決定を大切にしながら取組を充実していく。本市が目指す不登校特例校のあり方を検討する。

子育て支援

【問】妊娠から出産・子育てまで切れ目なく、すべての妊婦・子ども・子育て家庭を支援する伴走型相談支援を実施するとは具体的にどのようなことか。

【答】妊娠届出時と出産後4か月以内に保健師等が面接。妊婦の体調や出産場所の確認をして各種制度の紹介を行う。出産後は家庭訪問等を行い子どもの発達状況や母親の体調や養育状況を確認していく。



子育て施策の伴走型相談支援とは



©KOMETTO

【その他の質問項目】

◆教育について

◆女性活躍について

城づくりに影響を与えた丹後山の活用策は



丹後山の由来と活用策

【問】津山の城づくり、一番の守りの石垣に影響を与えた丹後山の活用をしっかりと検討していただきたい。丹後山の名前の由来も研究中であるが、分かれば答えを。

【答】丹後山は津山藩の家老を務めた大塚丹後が下屋敷を構えていたことから丹後山と呼ばれているようになった。お城の防衛力強化の根拠として



津山の城づくりに影響を与えた「丹後山」

なった場所であり、軍事的側面から津山城築城の歴史を検証するためには必要な場所であると認識している。自然豊かなところであり、現在に至るまでの活用実態も踏まえ、まちじゅう博物館構想の中でのような活用策があるのか研究していく。

【その他の質問項目】
◆破綻した福祉施設の今後について
◆市長の主要施策について

津山市小中学校の将来構想を考える



地域運営組織

【問】地域担当職員制度の導入を各支所、出張所を拠点に始めてみては。

【答】地域づくり応援事業や地域づくりサポートセンター事業等の充実を図りながら、必要な支援の研究を進めていく。

教育

【問】学校の統廃合の検討について、今後のスケジュールは。

【答】令和5年度以降、主に



道の駅「久米の里」周辺整備は

中学校区を対象として順次説明会を開催していく。
【問】道の駅久米の里を拡大し、それを中心とした地域振興策は考えられないか。
【答】開業予定のホテルは、道の駅の利用を前提とした宿泊特化型であり、賑わい創出に寄与するものと期待される。まずは、立地企業や地域団体等と連携を深めていくことが、道の駅魅力向上とともに地域の振興にもつながると考える。